

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 065	提案機関名 神奈川県内水面養殖業者協議会
要望問題名 在来ヤマメを活用した新たな内水面養殖魚種の開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 丹沢水系で古くから生息している在来ヤマメが確認され、これを用いた種苗生産や放流試験に取り組んでいるとのことです。大きく成長する等の養殖用種苗の開発に取り組んでほしい。特徴のある地域の魚はブランドとして人気が高く、本県においてもそれを活用した養殖魚種が開発できれば、養殖業の発展に寄与すると考えられる。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 内水面漁業推進事業、地域課題研究		
対応の内容等	丹沢在来ヤマメを由来とする種苗の「丹沢系ヤマメ」については、これまで種苗生産や放流試験に取り組んできましたが、今後はこの特徴のある魚のブランド化に向けて検討会を設立するなど、遊漁や食用としての活用を図り、地域の活性化と内水面漁業の振興を進めていきます。この一環として、大型になる3倍体魚の作出にも令和6年度から取組んでおり、成長や生残など収益性に係る評価を行って実用化を目指し、養殖業の発展に寄与してまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			